25歳人口が滅る中、大学が生き残りをかけて改革を迫られ ている。後押しする文部科学省も、入試改革や国立大の役割 明確化といった対策を打ち出している。その意図はどこにあ るか。地方創生を担う公立大を含め、大学全体の将来像をど う描くのか。高等教育行政のトップに聞いた。

2020年度に「大 学入試センター試験」に代 わる新たな共通テストが始 まる。マークシート式だけ でなく、記述式の問題を導 入することが柱だ。

「高校の授業では、知識 の活用や探究が不足してい るとの指摘がある。その大 きな要因は、知識だけを問 う問題が大学入試の中心に なっていると思われている ことだ。記述式も含め、考 えたことを表現する問題を 夫通試験に採り入れると、

高校教育や生徒へのメッセ ー沙になる。現在、どんな 態勢で記述問題を大量に採 点するかなど、 技術的な 課 題をクリアする方法を詰め MZMI

常盤豊・文科省高等教育局長に聞く

国立大は今年度から ら年間の「第^の期中期計 画」の期間に入る。全路大 学を「地域に貢献」 「全国 的な教育研究」「世界で卓 越した教育研究」と目的 別に3分類したのが特徴

「グローバル化や情報技



ときわ・ゆたか 東大卒、1983年に旧文部省 に入り、教育課程課長や高等教育局私学部長などを 経て2015年8月から現職。 5歳。

1

公表

出題内容·

範囲を検討

順次導入

各大学の個別試験 高校基礎学力テスト

人掛

センター試験終了 20年1月 一 仮の試験を実施 小學

20年4月

19年4月

18年4月

術の進展など、急速な環境 変化に全大学が即応し、受 割を充実させることが求め られている。特に多くの税 金が投入されている国立大 は強みや特色を明確にし、 社会的に求められる役割を 果たさなければならない」

「国立大には以年度から 2~3年かけて自ら役割を 見直してもらった。その結 果も踏まえ、各大学が三つ の中から遅んだ枠組みに則 して教育研究の機能強化を 進めている」

国立大に役割の見直 しを促す中で、文科省は昨 年6月、教員養成や人文社 会科学系の学部に廃止や転 換を求める通知を出した。

「表現が誤解を招いた面 はあるが、人文社会科学系 の学部を廃止して自然科学 系に転換すべきだというこ とではない。人文社会科学 系では他分野との融合的な 研究や社会との連携が不士 分との指摘があり、組織の 見直しむ含めて取り組んで ほしいという題目だ」

具体的にはどんなこ とが求められるのか。

「社会と連携して新たな 価値を創出していくこと

。マークシート式と記述式の日程を分ける案も検討

。複数回実施を今後も検討

1回のみ。例年、1月に 2日間実施

成績を表示

記述式の成績は「1点刻み」ではなく段階別に

。記述式は人工知能活用などで採点を支援

「合教科」「総合型」との表現は盛り込まれず 。当面は国語、数学の一部で記述式の出題

。科目数を簡素化 具体的Cは未定

・6教科31科目から選択

地理歷史、公民、国語、外国語、理科、数学

・選択肢から回答する • [1点刻み]の点数で

問題形式

センター試験、こう変わる

例えば、1PS細胞などの再 生医療は、実際に人を対象 に実用化していくなら、倫 理面や法も含めた社会的な 課題がある。新領域の開拓 は非常に重要で、顔極的な 取り組みに期待したい」

意欲的な試みには資 金がいる。大学への交付金 や助成金はどうなるか。

「国立大では、強みや特 色をさらに強化するための 補助金も含め、人件費など を賄う基盤的経費である運 営費交付金を確保したい。 増額を目指す国立大の期待 にどう応えるかが課題だ。 私立大への助成金も重要 だ。私大は大学の8割近く を占め、高等教育の機会提 供や多様性に富んだ人材育 成に極めて大きな役割を果 たしている」

給付型奨学金の検討

「実現に向けて努力を続 ける。大学に行かずに働く 人との均衡などを考慮しつ no 制度設計を進めてい **1年度入学者から卒業** 後の収入に応じて返還月額 が変わる『所得連動返還型 奨学金』 も始める」

少子化の中、 大学が 多すぎるとの指摘もある。

「国公私立を通じて大学 の規模や役割をどう考える

2次試験

出屬

マークシート式

センター試験

現行

劉氏

+

記述式

新テスト

新テストの日程案

か。高等教育の将来構想を 議論する段階だ。 3歳人口 は滅るが、中国など諸外国 では
高等
教育
の
規
関
が
広
大 している。規模が小さくな ると高度知識社会を支える 人材の力が落ちてしまうな どの課題もある」

財政状況は厳しい 税金の投入額や規模の充実 は納得を得られるか。

「高等教育への期待を国 民に広く持ってもらうこと が重要。大学は、アカデミ ックな問題だけを扱う組織 でなく、地域など社会的な 課題の解決に貢献する組織 だと思う。経済界などと積 極的に協働して人材を育成 する方向に大学が自ら前進 する必要がある」

地域課題に大学がど う向き合うか。

「国公私立大のそれぞれ が最適な形で力を出せる構 造づくりが我々にも求めら れている。特に都道府県や 市町村が設置する公立大 は、例えば看護系の学科を 置いて人材を養成するな ど、地方創生の中心として 地域の要請に応えている。 奨学金を活用して地域への 就職を促す取り組みもあ 今後の高等教育の将来 構想づくりで重要な論点に なると考えている」

◆団は27日に掲載します

16 な 極 3 **VI** 也 田 4 地域

NO

SINI

役割 充実させる支援を

大学の人材育成と研究 を、社会の課題への対処や 経済状況の改善にもっと役 立てる。文科省が進める大 学改革には、そんな側面が 1810°

「役立つ」だけでいい か。疑問は当然ある。成果 が出るまで時間やコストの かかる研究もあるだろう し、社会のニーズが少なく ても育てなくてはならない 職業分野もある。

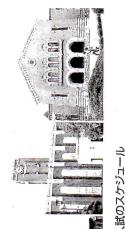
一方、国が出すお金は滅

への運営費交付金は1兆の 45億円。 法人化した
9年 度から約1500億円減っ た。投じた税金に見合う価 値が国民に認められれば、 削減に歯止めをかけ、充実 への理解も得やすくなる。 常盤局長が「社会的要請に 応える必要がある」と強調 する背景には、そんな思い がある。

国のお金が滅ると、もう 一つの収入の柱である授業 料の値上げにつながる可能 性もある。大学の経営が全 体的に立ちゆかなくなり、 いまでも高い授業料がさら に上がる。そんな連鎖を避 けるには、大学の役割を充 実させる方向で公的支援を 見直すべきだ。

2歳人口は5年後に10 ○万人を切ると予測され る。今後、高等教育の規模 についての検討も避けられ ない見通しだ。大学を滅ら してお金を浮かせるという 発想ではなく、大学の強み を生かし、家計にも目配り した計画が必要だ。

(高浜行人)



17年4月 新しい大学入試のスケジュール 16年4月 2015年4月

大学入学希望者 学力評価テスト 共通1次試験に代わり、大学入試 - 大学設置基準の大綱化」で大 学が自由に教育課程を編成でき センター試験が始まる

構造改革特区で株式会社による 大学設置が可能に 国立大学法人化 学が自由

中央教育審議会が大学教育の 改善を答申。大学生が共通で身 につけるべき学習成果を「学士 カト規定

「国立大学改革プラン」を策定。 国立大がそれぞれの強みや特色 を整理する「ミッションの再定義」 を行う

中央教育審議会が高校教育、大学教育及びそれらをつなぐ大学入 試の抜本的な改革を求める答申 大学の学長の権限を強化する改 正学校教育法施行

文科省が、16年度以降に取り組むべき見直し内容を留立大に通む。人才会科学系や教員養成系は「組織の際上や社会的要請の高い分割、の高い分割、の原換」を求める

世界最高水準の大学を「指定国立大学法人」にする改正国立大学法人」にする改正国立大学法人法成立(施行は17年4月)

大学入試改革

車◎「高校基礎学力テスト(仮称)」の19年度が らの新設。①は20年度に「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」に交替え。②は論述問題や国務、ブレビンテーションなど多様な方法で評価を 教、ブレビンテーションなど多様な方法で評価を 教める。③は高校阪学力テスト。当初検討された 推薦入試などへの結果利用は当面見合わせる。 は①センター試験改革②各大学の独自試験改

H

10